

年間授業計画

上水 高等学校 令和8年度（2, 3年次用） 教科 芸術 科目 保育音楽

教科： 芸術 科目： 保育音楽 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2, 3 年次

使用教科書： （ 自校作成プリント、平易なピアノ教本、弾き歌いの楽譜など ）

教科 芸術 の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 保育音楽 の目標： 音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		歌	器	創							
A 歌唱（唱歌、手遊び歌） 【知識及び技能】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表す。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 歌詞の内容や、表現豊かに歌うための方法を身に付ける活動に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	・「春の小川」「朧月夜」等の平易な歌唱教材 ・「アルプス一万尺」「茶摘」等の平易な手遊び歌 ・童謡 題材内で使用する教材 楽譜	○				A 歌唱（唱歌、手遊び歌） 【知識・技能】 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 歌詞の内容や、表現豊かに歌うための方法を身に付ける活動に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。		○	○	○	14
B 器楽（ピアノ独奏） 【知識及び技能】 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表す。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律と伴奏の役割を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 表現豊かな演奏をするための基礎的な技能を身に付け、曲にふさわしい音色や響きを工夫し表現する活動に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。	・バイエル、ブルグミュラー、ソナチネ等の平易なピアノ教本 ・発表会 題材内で使用する教材 ピアノ教本		○			B 器楽（ピアノ独奏） 【知識・技能】 創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 【思考・判断・表現】 旋律と伴奏の役割を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 表現豊かな演奏をするための基礎的な技能を身に付け、曲にふさわしい音色や響きを工夫し表現する活動に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。		○	○	○	14

